

Re:いいじゃん!! 横浜
～たくさんの笑顔が紡ぐ保育のWA～

2022/9/13(火)-15(木)

横浜ベイホテル東急



第43回
全国青年保育者会議
横浜・神奈川大会

大会趣旨

- 大会テーマ -

Re: いいじゃん!! 横浜

～たくさんの笑顔が紡ぐ保育のWA～

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちが働く保育所・認定こども園でも子ども達や保育に様々な規制や対策等が生まれ園スタッフや子ども達は毎日見えない敵と隣り合わせの日々を過ごしています。エッセンシャルワーカーである現場の保育者の方々は、日々の保育を真剣に考え、それを実行し、新型コロナウイルスに怯えながらもそれを見せずに常に前向きな姿勢・変わらぬ笑顔で子ども達と接しています。エッセンシャルワーカーである現場の保育者の方々がこの大会の研修等を通して色々な事例や保育手法などを学び、似た境遇に置かれた仲間たちと意見交換等をし、保育の仕事というものは本当に素晴らしいと思え、大会での学びを子ども達に還元していける大会にしたいと考えております。

各支部の青年部員におきましても、この大会を通して子ども達へのアプローチの仕方や保育所・認定こども園という小さなコミュニティだけではなく地域交流の大切さを学び、未来を担う子ども達がより多くの選択肢を考えられるような新しい事業への発見・取り組みを積極的に行えるような状況を検討していけるきっかけ作りの第一歩となれば幸いです。

またこの大会では、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みの一環として環境に配慮しペーパーレス化等様々な事柄について実践してまいります。

今大会が、参加する全ての人にとって有意義で実りのある研修になることを願っております。

第43回全国青年保育者会議 横浜・神奈川大会

実行委員長 鈴木 拓

実行委員 一同

大会スケジュール

| | | Time | Contents |
|-----|--------------|---------------|-----------------------------|
| 1日目 | 9月13日 火曜日 | 12:30 ~ 13:30 | 開場・受付 |
| | | 13:30 ~ 14:20 | 開会式 |
| | | 14:20 ~ 15:10 | 行政説明 (厚生労働省 依頼中) |
| | | 15:10 ~ 15:30 | 休憩 |
| | | 15:30 ~ 17:00 | 基調講演1 汐見 稔幸氏 (東京大学 名誉教授) |

| | | Time | Contents | |
|-------|---|---------------|--|---|
| 2日目 | 9月14日 水曜日 | 10:00 ~ 11:45 | 基調講演2 大豆生田 啓友氏 (玉川大学 教育学部教授) 坂本 喜一郎氏 (RISSHO KID'S きらり岡本園長) 堀 昌浩氏 (認定こども園さくら園長) | |
| | | 11:45 ~ 13:30 | 昼食・休憩・会場移動 | |
| | | 13:30 ~ 17:00 | 第1分科会 | 乳児教育保育委員会 幼児教育保育委員会 |
| | | | 第2分科会 | 人材育成委員会 井上 眞理子氏 (洗足こども短期大学教授) |
| | | | 第3分科会 | 中山 康夫氏 (野あそびのプロ集団「ろせっとわーくす」代表) |
| | | | 第4分科会 | 横浜・神奈川大会実行委員会 前刀 禎明氏 ((株)リアルディア 代表取締役社長) |
| 第5分科会 | 原田 裕花氏 (アトランタオリンピック女子 バスケットボール日本代表) 藤元 直美氏 (日本体育大学非常勤講師) | | | |
| 第6分科会 | 一般社団法人 Learning Journey | | | |

※第1分科会・第2分科会・第4分科会は、上段が13:30～15:00・下段が15:30～17:00となり、15:00～15:30は休憩となります。

| | | Time | Contents |
|-----|--------------|---------------|------------------------------|
| 3日目 | 9月15日 木曜日 | 9:30 ~ 9:50 | 本部報告 (日本保育協会) |
| | | 10:00 ~ 11:30 | 記念講演 東京オリンピック金メダリスト 水谷 隼氏 |
| | | 11:40 ~ 12:00 | 閉会式 |

行政説明

「行政説明」

厚生労働省（依頼中）

基調講演 1

「保育が目指す新しい人間像」

なぜ今、保育における主体性がこれほど叫ばれるのか。

多くの保育者がこの主体性について議論をしていますが、その背景についての議論はあまりされていません。

VUCA の時代と言われる現代社会において、本当に必要な教育の形とはどういったものなのか？新しい時代を本当の意味で人間らしい社会にしていくためには何が必要なのか？

世界各国と比較した日本の現状などを踏まえながら、幼児教育の重要性や保育が目指す新しい人間像についてご講演頂きます。



東京大学 名誉教授
汐見 稔幸氏

基調講演 2

「ライフスタイルの共創」

～アップサイクルを楽しめる保育～



玉川大学 教育学部教授
大豆生田 啓友氏



RISSHO KID'S きらり 園長 園長
坂本 喜一郎氏



認定こども園さくら 園長
堀 昌浩氏

アップサイクルとは本来「今まで無駄な物・廃棄物」などと扱われていた事柄にアイデアやデザインといった新たな付加価値を持たせることで別の新しいモノ・事柄にアップグレードして生まれ変わって行く概念です。22世紀最初の世代を保育するのにこれらの概念を面白がれるマインドの獲得が園として求められていると感じます。大人も子どももヒトとして主体的に生きています。お互いに今まで見過ごされていたモノ・事柄に耳を傾け・対話し・行動する「お互い様」を面白がれる新たな環境の在り方を考えます。

第1分科会

13:30～15:00 乳児教育保育委員会

「保護者援助から支える子どもの最善の利益」

十文字学園女子大学 准教授
亀崎 美沙子氏



子どもの最善の利益を考えながら保育をしていく中で切っても切り離せない、とても大切な側面となるのが子育て支援ではないでしょうか。

保育者の役割は子どものケアだけではなく、子育て支援も含まれており、いずれも法定業務として定められています。「保育所保育指針」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の第4章において、1章分をさいて詳細に子育て支援に関する内容が記載されています。

しかし、「どのようにアプローチしていけばよいのか・・・」「立場的に言いづらいこともあるし・・・」「子育ての経験がないので・・・」など、現場の悩みや課題は山積みです。

改めて保育所・認定こども園だからこそできる保育の専門性を生かした子育て支援について、意義と実践について一緒にポジティブに考えてみましょう！

15:30～17:00

幼児教育保育委員会

「園見学へようこそ！」

～ 滋賀、沖縄、佐渡島編～

発表者 幼児教育保育委員会 委員

個人的に保育者としての多くの学びは他園への園見学から得たと思っています。棚の配置、子どもへの声かけ、おもちゃの片付け方など、園見学を通じて本当に多くの学びを自園に持ち帰りました。コロナ禍でなかなか園見学に行きづらい昨今ですので、今回は動画を駆使して、研修会場にて皆さんを滋賀県、沖縄県、新潟県佐渡島へのご案内いたします。実際に「見学に来た！」と思って頂けるよう、そして、一つでも新しい気付きをお持ち帰り頂けるよう、幼児教育保育委員会メンバーが工夫を凝らしました。研修の息抜きと一緒に見学に出かけませんか？ご来園心よりお待ちしております。

第2分科会

13:30～15:00

人材育成委員会

「Z世代の人材育成」

発表者 人材育成委員会 委員

皆さんは毎年の新人研修をどのように行っていますか？保育分野における人材確保は課題ですが、厳しい状況の中でも新人職員の育成、定着を目指し試行錯誤されていると思います。新卒で入った職員であっても、4月1日からは保育のプロとして現場に立たなければなりません。勤務初日を安心して迎える事ができるために必要な事とは何でしょうか。

本分科会では、採用内定から実際に就職するまでの間にどのような取り組みをしているのか、人材育成委員の先生方に研修事例を発表して頂きます。他園の研修内容についての資料や内容を見る機会は意外と少ないと思いますので、本分科会を通して皆様の園の新人研修のご参考になれば幸いです。

15:30～17:00

「魅力ある園づくりのための組織マネジメント」

～業務改善・再構築による働き続けたい職場づくり～

洗足こども短期大学 教授
井上 真理子氏



保育士等が自己の専門性や特性を存分に発揮できることは、保育の質向上に直結します。また、仕事にやりがいを感じ、職員相互の特性を活かし、助け合いながら働くことは、働き続けたい魅力ある組織をつくります。しかし実際は、保育士等の業務負担の実態や働きにくさ、離職をもたらす課題を抱えている現場も多いのではないのでしょうか。

保育の魅力を再確認し、目的意識をもって職員自ら主体的に業務をすすめることのできる職場づくり、厚生労働省の「保育分野における業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン」をひもとき、事例をもとにマネジメントの視点で考えてみたいと思います。

事例報告：認定こども園星の子保育園 園長 中西 淳也

第3分科会 「センス・オブ・ワンダーを育む」

～自然と子どもたちの間に虹の架け橋を創ろう～

野あそびのプロ集団「ろぜっとわーくす」代表
中山 康夫氏



子どもたちのセンス・オブ・ワンダー（自然の不思議さに目を見張る豊かな感性）を育むことは保育をしていく上でとても大切なことです。第3分科会では子どもたちのそのような心を育むことを目的として、公園内の自然を最大限活用した自然ふれあい遊びを学びます。道具をあまり使わないで「いつでも」「どこでも」「誰とでも」をキーワードに参加者全員が楽しめる研修内容です。明日からの保育にすぐにでも活用できる遊び術を学び、自園の保育に役立てて頂けます。

第4分科会

13:30～15:00

「みんなで園のICT化を考える」

横浜・神奈川大会 実行委員会

みなさんの園では、どのようにICT化を進めていますか？この時間帯は、大会実行委員会の実践例や導入プロセス等を踏まえて考えてみませんか？

※ICT…Information and Communication Technology（情報通信技術）

15:30～17:00

「子どもの感性や創造性の探求」

～ワンダーラーニングのすすめ～

株式会社リアルディア 代表取締役社長
前刀 禎明氏



元 Apple 社の日本法人社長で iPod の仕掛け人でもある前刀氏。いまや、タブレット使用の学校教育は小学校から大学まで幅広く浸透している。子どもの感性や創造性をどのように捉え、ICT教育をどう進めていくことが望ましいのか。また、未来の保育・教育はどのような展開が最善だと考えているのか。今後の日本社会が進むべき道のヒントや未来を創る子どもが育つ環境などをご講演いただきます。最新の「WONDER LEARNING」アプリも紹介されます。

第5分科会 「魅力的な保育者を目指して 健やかな心と体をつくる」

～オリンピックが語るバスケットボール人生を通じて感じたこと。
本当はすごいラジオ体操！指導者資格を取得しよう～



バスケットボール解説者
元バスケットボール女子日本代表キャプテン

原田 裕花氏



日本体育大学非常勤講師
全国ラジオ体操連盟指導委員

藤元 直美氏

- 1) オリンピアンが語るバスケットボールを通じての経験談から無理せず自分なりの魅力的な保育者像について考えてみましょう。
- 2) ラジオ体操を通じて自身の健康意識を高め、保育現場において指導者としての動き方を学び、全国ラジオ体操連盟公認ラジオ体操一般指導者の資格を取得しましょう。

第6分科会 「幼児の新しい学びの環境ステージモデル」

一般社団法人 Learning Journey



こどもはうまれながら学ぶ力を持っている。遊びながらその学ぶ力に気づいていく。その「遊び学ぶ力」こそが日本の未来を変える。Learning Journey は、乳幼児期の学びの可能性を信じています。その未来につながる遊びに、さまざまな大人が「協力」することで、こどもたちが生まれながら持っている「遊びを通して学ぶ力」を大きく引き出したい。そのような学習環境をデザインし、こどもの成長をサポートする保育者を育成すべく Learning Journey では、プロジェクトワークショップ（説明会・研修会）を開催しています。次世代に向けた素敵な保育ステージを一緒に創りませんか？

本部報告

「本部報告」

日本保育協会

記念講演

ちから

「打ち返す力」

～意識の持ち方次第で道は拓ける～



水谷 隼氏



2021年東京オリンピックの卓球ミックスダブルスにて、並み居る強豪を破り金メダルに輝いた瞬間をまだ鮮明に覚えている方も多いと思います。アテネオリンピックから始まり4大会連続でオリンピックに出場した輝かしい経歴の裏で、目の不調や怪我、卓球ラケットの違法問題、誹謗中傷など数多くの困難とも闘い続けてきました。色々な逆境を乗り越えて金メダルを獲得した激闘の内幕だけでなく、プロとしての意識の持ち方、人間関係のコツ、成功に繋がるプライベートの過ごし方、15歳でドイツ留学した際に経験した日本と海外との指導方法の違い、そして折れない最強のメンタルの養い方などを余すところなく語って頂きたいと思います。

【鼎談者】 日本保育協会青年部 前部長 志賀口 大輔
日本保育協会青年部 部長 新保 雄希

お申し込みのご案内

今大会は、各支部青年部とりまとめにてのお申し込みとなります。各支部青年部長様または事務局様に申込書ととりまとめ様式（Excel）を送付させて頂いております。送付されてきましたら、申込書に必要事項をご記入の上、各支部様のとりまとめ先にご送付をお願い致します。

8月中旬以降に参加票やご請求書、お振込先をメールにて送信させて頂きます。期日までにお振込みをお願いいたします。お支払いは、支部とりまとめではございませんのでご注意ください。請求書は各園様に送信させて頂きます。

大会の円滑な運営の為、大会当日の受付でのご入金をご遠慮いただき、事前のお振込みをお願いいたします。領収書は、お振込み時の控えをもって当大会の領収書に代えさせていただきます。銀行振り込みにおける振込手数料は各自ご負担くださいますようお願いいたします。お振込みの際の振込名は貴園名にてお願い致します。

『各支部青年部長様または事務局様』

とりまとめ様式や各園の申込書は、青年部事務局より送信させて頂きますが、今大会ホームページからもダウンロード出来るようになっております。

下記大会ホームページにあります「参加お申込み」より必要な書式をダウンロードし活用して頂けると幸いです。

尚、提出は必ずとりまとめ様式（Excel）にてお願い致します。

- ※支部青年部が存在しない等の事情にて申し込みが出来ない方は、下記の大会ホームページより「参加お申込み」⇒参加申込フォーム（Google フォーム使用）からお申し込みください。
- ※今大会は趣旨にも記載させて頂きましたが、SDGsの一環として郵送や紙媒体等での印刷や発送は行なっておりませんので、予めご了承ください。

第43回全国青年保育者会議横浜神奈川大会ホームページ
<https://www.yokohamakanagawa-con.com/>



大会参加費・・・35,000円（お一人あたり）

※大会は、昨今の状況を考慮して、大人数が一堂に会する情報交換会を行いません。

上記の費用は、参加費のみとなります。

※9月14日の昼食も含まれておりません。昼食は会場周辺にありますクィーンズスクエアやランドマークプラザ等にてお願い致します。

参加申込期間・・・令和4年7月1日（金）～8月1日（月）

※各支部青年部様からのとりまとめ様式の提出も同様とさせていただきます。

大会会場のご案内



<交通のご案内>

電車：みなとみらい線みなとみらい駅直結徒歩約1分。JR京浜東北線(根岸・横浜線)、市営地下鉄桜木町駅より徒歩約10分。JR線成田エクスプレス「成田～横浜」で84分。新幹線新横浜駅よりJR横浜線登名駅で東急東横線(みなとみらい線直通)に乗り換えて20分。

車(平常時)：首都高速道路横羽線みなとみらいランプより約2分。第3京浜玉川ICから首都高速道路経由で約25分。羽田空港より約30分。成田空港より約80分。横浜駅より車で約10分。新幹線新横浜駅より車で約30分。

<ホテル駐車場ご利用時のご案内>

- ご入場の際お受け取りになった駐車券は、利用施設までお持ちください。
- 駐車場からホテルへは、クイーンモール内の「緑のエレベーター」をご利用ください。ホテルの入口は1F及び2Fのエレベーターを降りた右手にございます。
- 深夜0：00～7：00の間、駐車場へはホテル1Fクイーンモール側出入口のみご利用いただけます。
- 駐車料金のご精算は、「緑のエレベーター」B3Fの精算機をご利用ください。

※土・日・祝日は大変混雑が予想されます。

昼食場所のご案内



こちらより、みなとみらい地区の飲食店情報を検索できます。



宿泊施設のご案内

今大会は、旅行会社を通さずに大会運営を行なっております。
 お手数ですが、交通機関や宿泊施設の手配は各自でお願い致します。
 ご参考までに、下図にて大会会議付近のホテルのご案内をさせていただきます。



- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| ①横浜ベイホテル東急 (会場) | ⑩ホテルエディット横浜 |
| ②横浜桜木町ワシントンホテル | ⑪ファーストビレッジホテル横浜 |
| ③ニューオオタニイン横浜プレミアム | ⑫東横 INN 横浜桜木町 |
| ④JR東日本ホテルメッツ 横浜桜木町 | ⑬相鉄フレッサイン 横浜桜木町 |
| ⑤ブリーズベイホテル リゾート&スパ | ⑭ホテルルートイン横浜馬車道 |
| ⑥フレックスステイン桜木町 | ⑮横浜平和プラザホテル |
| ⑦横浜東急 REI ホテル | ⑯マルタニホテル |
| ⑧横浜ロイヤルパークホテル | ⑰リッチモンドホテル横浜馬車道 |
| ⑨ヨコハマ グランドインター コンチネンタル ホテル | ⑱コンフォートホテル横浜関内 |
| ⑩ホテルリソル横浜桜木町 | ⑲東横 INN 横浜関内 |